

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬白

2021年9月

【記】

◇新規受託開始検査項目

項目コード:2719

抗リン脂質抗体(APL)パネル

受託開始日:2021年10月2日(土)受付分より

抗リン脂質抗体症候群(APS)は、血中の抗リン脂質抗体 (aPL) により多様な病態を引き起こす自己免疫疾患群です。

APS は aPL により血液が凝固傾向になり、動静脈血栓症や流産・不育症などの妊娠合併症の原因となる後天性血栓性素因と定義されています。

APS には単独で発症する原発性と自己免疫疾患である全身性エリテマトーデス(SLE)に合併するものがあり、その比率はほぼ半々と考えられています。aPL の主要対応抗原は、陰性荷電を持つリン脂質と結合した $\beta 2$ グリコプロテイン I ($\beta 2$ GPI)とプロトロンビンであることが明らかになっており、診断用検査手法としては抗体自体を測定する免疫学的方法と、ループスアンチコアグラント(LAC)を凝固時間の延長により検出する機能的方法に大別されます。免疫学的方法による aPL の抗体系検査には抗カルジオリピン抗体(aCL)や抗 $\beta 2$ GPI抗体などがありますが、従来保険適用されたものはaCL IgGのみであった為、総合的な評価が困難であるという側面がありました。

本検査は主要な aPL をアイソタイプ別にパネル検査として抗カルジオリピン抗体 IgG と IgM および 抗 $\beta 2$ GPI 抗体 IgG と IgM の 4 項目を同時に測定するもので、2020 年 7 月に保険適用となりました。これにより、国際血栓止血学会が定める分類基準および難病情報センターが定める診断基準に沿った検査が可能となり、これらを一連で測定することは APS の診断に有用と考えられます。

※ 受託要項につきましては裏面をご参照下さい

◇検査要項

検査項目名	抗リン脂質抗体(APL)パネル
報告名称	抗リン脂質抗体APL
項目コード	2719
検体材料	血清
検体必要量	0.6mL
保存方法	凍結
容器	①:分離剤入り容器
検査方法	CLIA法
基準範囲	20.0以下
単位	U/mL
報告様式	CL(カルジオリピン)IgG CL(カルジオリピン)IgM β 2GPI IgG β 2GPI IgM
報告桁数	小数第1位
所要日数	4~6日
検査実施料	696点 ^{※1,2} ([D014]自己抗体検査「27」抗カルジオリピン抗体 232×3回分)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	<p>※1: 抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、抗カルジオリピン抗体および抗β 2グリコプロテインI抗体の測定を行った場合に、抗カルジオリピン抗体の所定点数の3回分を合算した点数を準用して一連の治療につき2回に限り算定できます。</p> <p>※2: 抗カルジオリピンβ 2グリコプロテインI複合体抗体、抗カルジオリピン抗体、および本検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できます。</p>

お問い合わせは最寄りの営業所 または、
本社・研究所にお願いいたします。

SMS 株式会社 **昭和メディカルサイエンス**
本社・研究所：東京都町田市南町田三丁目45番18号
TEL 042 (795) 6000